



OJI HOLDINGS

決算説明会資料

2017年11月16日(木)

2017年12月14日(木)訂正版



CENIBRA(ブラジル)の夜景



CENIBRA(ブラジル)工場全景



王子ホールディングス株式会社

I. 2017年度第2四半期決算概要

1.	2017年度2Q累計 連結業績概要	3
2.	連結営業利益増減内訳(2016年度2Q累計 対 2017年度2Q累計)	4
3.	セグメント別売上高・営業利益 (2017年度2Q累計実績)	5
4.	セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材	6
	②機能材	7
	③資源環境ビジネス	8
	④印刷情報メディア	9

II. 2017年度業績予想

1.	2017年度 連結業績予想	11
2.	連結営業利益増減内訳 (2016年度 対 2017年度)	12
3.	セグメント別売上高・営業利益 (2017年度予想)	13
4.	セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材	14
	②機能材	15
	③資源環境ビジネス	16
	④印刷情報メディア	17
5.	外部環境の変動による影響	18

III. グループ経営目標

1.	収益計画 (1)経営理念・経営戦略	20
	(2)2018年度中期計画進捗状況	21

IV. トピックス

1.	事業戦略 ①東南アジア・オセアニア段ボール事業	23
	②海外紙おむつ事業	24
	③東南アジア感熱紙事業	25
2.	研究開発 ①セルロースナノファイバー(CNF)	26
	②薬用植物「甘草」・水処理事業	27

《参考資料》

	連結営業利益推移	29
	自己資本利益率(ROE)推移	30
	連結有利子負債残高推移	31
	連結設備投融資・減価償却費推移	32
	連結就業人員推移	33
	2017年度2Q累計 業界需要動向	34

I . 2017年度第2四半期決算概要

1.2017年度2Q累計 連結業績概要



OJI HOLDINGS

(単位：億円)

	2016年度2Q累計 実績	2017年度2Q累計 実績	増減
売上高	6,929	7,184	255
営業利益	336	266	▲70
経常利益	126	242	116
親会社株主に帰属する 四半期純利益	84	165	81
減価償却費	359	352	▲7
海外売上高比率	26.4%	29.9%	3.5%
海外所在会社営業利益	119	181	62
為替レート [期中平均・円/US\$]	105.3	111.1	5.8
連結子会社			
国内	95社	92社	▲3社
海外	103社	105社	+ 2社
合計	198社	197社	▲1社

国内 : 木材関連連結化+1社、製袋・紙器関連▲3社、紙製品関連▲1社

海外 : マレーシア感熱関連買収+5社、豪州段ボール関連+3社、シンガポール段ボール連結化+1社
植林・木材関連▲5社、その他▲2社

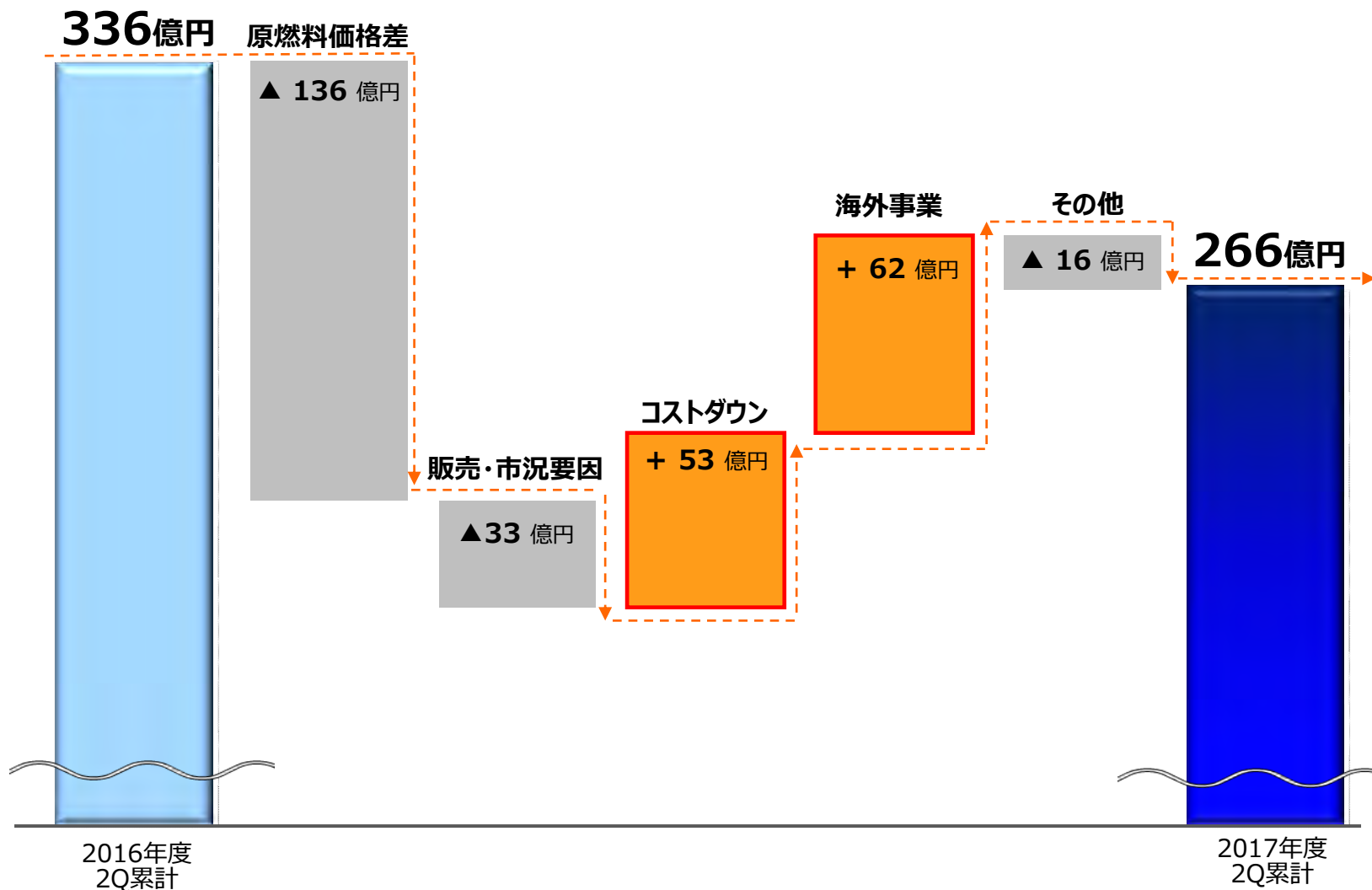
他に、持分法適用関係会社+2社（国内+1社、海外+1社）

2. 連結営業利益増減内訳 (2016年度2Q累計 対 2017年度2Q累計)



OJI HOLDINGS

原燃料価格高騰等により▲70億円減益



3.セグメント別売上高・営業利益 (2017年度2Q累計実績)

(単位：億円)

	2016年度2Q累計実績		2017年度2Q累計実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活産業資材	3,018	94	3,172	▲2	154	▲96
機能材	1,031	75	1,065	89	34	14
資源環境ビジネス	1,277	103	1,422	163	145	60
印刷情報メディア	1,455	18	1,408	▲26	▲47	▲44
その他	148	46	117	42	▲31	▲4
連結合計	6,929	336	7,184	266	255	▲70

※ 1 売上高にはセグメント間売上げを含む

※ 2 その他には調整額を含む

4.セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材

2016年度2Q累計

売上高

3,018 億円

営業利益

94 億円

うち国内 66 億円
うち海外 28 億円

2017年度2Q累計

売上高

3,172 億円

営業利益

▲2 億円

うち国内 ▲25 億円
うち海外 23 億円

増減額

営業利益

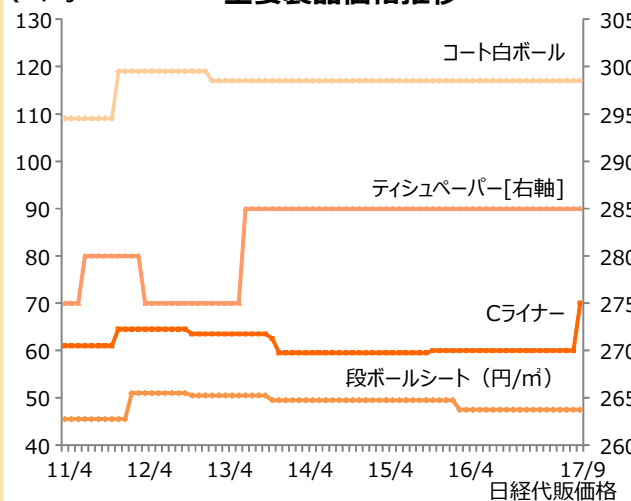
▲96 億円

うち国内 ▲91 億円
うち海外 ▲5 億円

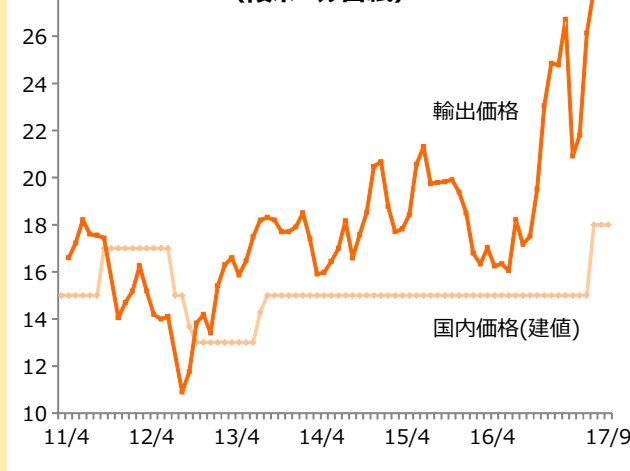
増減益要因 (▲96億円)

- ◆ 国内事業 ▲91億円
 - 原燃料価格差 ▲96億円
 - 販売・市況要因 ▲4億円
 - コストダウン +20億円他
- ◆ 海外事業 ▲5億円
 - 東南アジアの段ボール販売が
堅調に推移するも、原燃料価格
の高騰等により減益

主要製品価格推移 (円/5箱パック)



主要原料価格推移 (段ボール古紙)



主要製品売上高実績(注)	2016年度2Q累計			2017年度2Q累計			増減			
	販売数量 (千t・百万㎡・百万枚)	販売単価 (円/kg・㎡・枚)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t・百万㎡・百万枚)	販売単価 (円/kg・㎡・枚)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t・百万㎡・百万枚)	対前年比 (%)	販売単価 (円/kg・㎡・枚)	販売金額 (億円)
板紙 国内事業	1,493	63.70	951	1,547	63.24	978	54	103.6%	▲0.47	27
段ボール (百万㎡) 国内・海外計	1,938	62.02	1,202	1,978	62.91	1,244	41	102.1%	0.89	43
包装用紙 国内事業	130	100.30	130	129	100.27	130	▲0	99.6%	▲0.04	▲1
家庭紙 国内事業	93	227.32	212	97	227.99	222	4	104.5%	0.66	10
紙おむつ (百万枚) 国内・海外計	436	20.08	88	442	19.04	84	6	101.4%	▲1.04	▲3

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

4.セグメント別利益増減分析 ②機能材



OJI HOLDINGS

2016年度2Q累計

売上高

営業利益

1,031 億円

75 億円

うち国内 52 億円
うち海外 23 億円

2017年度2Q累計

売上高

営業利益

1,065 億円

89 億円

うち国内 63 億円
うち海外 26 億円

増減額

営業利益

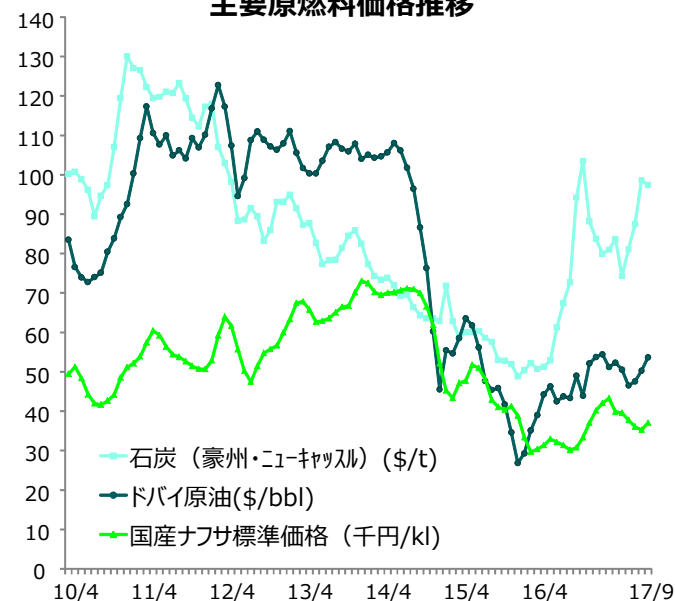
+14 億円

うち国内 +11 億円
うち海外 +3 億円

増減益要因 (+14億円)

◆ 国内事業	+11億円	◆ 海外事業	+3億円
コストダウン	+12億円	原燃料価格差(リアル高影響)等	
販売・市況要因	+2億円		
原燃料価格差	▲5億円		
	等		

主要原燃料価格推移



主要製品売上高実績(注)		2016年度2Q累計			2017年度2Q累計			増減			
		販売数量 (千 t・百万㎡)	販売単価 (円/kg・㎡)	販売金額 (億円)	販売数量 (千 t・百万㎡)	販売単価 (円/kg・㎡)	販売金額 (億円)	販売数量 (千 t・百万㎡)	対前年比 (%)	販売単価 (円/kg・㎡)	販売金額 (億円)
感熱紙 (百万㎡)	国内・海外計	1,587	18.64	296	1,522	19.46	296	▲65	95.9%	0.83	1
特殊紙	国内事業	93	234.47	217	95	241.58	230	3	102.7%	7.11	13

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

4.セグメント別利益増減分析 ③資源環境ビジネス



OJI HOLDINGS

2016年度2Q累計

売上高

営業利益

1,277 億円

103 億円

うち国内 39 億円
うち海外 64 億円

2017年度2Q累計

売上高

営業利益

1,422 億円

163 億円

うち国内 43 億円
うち海外 120 億円

増減額

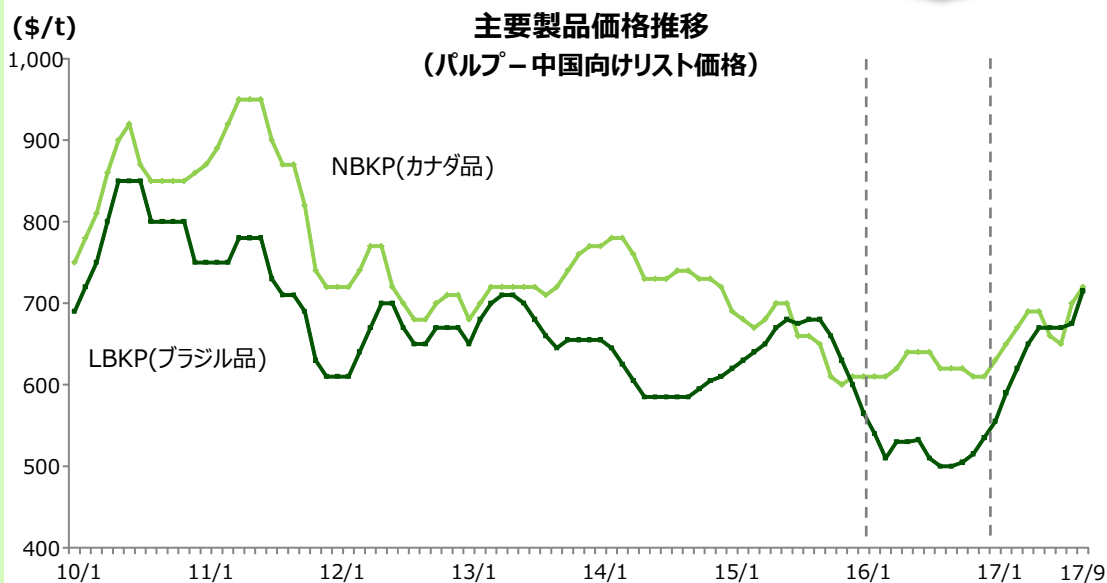
営業利益

+60 億円

うち国内 +4 億円
うち海外 +56 億円

増減益要因 (+60億円)

- ◆ 国内事業 +4億円
 - ・エネルギー事業にて売電量が堅調に推移
 - ・溶解パルプの輸出販売が好調な他、円安による為替差により増益
- ◆ 海外事業 +56億円
 - ・パルプ価格上昇 +60億円
 - ・パルプ販売数量増 +14億円
 - ・レアル高によるコスト高 ▲29億円 等



主要製品売上高実績(注)	2016年度2Q累計			2017年度2Q累計			増減			
	販売数量 (千 t・GWh)	販売単価 (円/kg・円/kWh)	販売金額 (億円)	販売数量 (千 t・GWh)	販売単価 (円/kg・円/kWh)	販売金額 (億円)	販売数量 (千 t・GWh)	対前年比 (%)	販売単価 (円/kg・円/kWh)	販売金額 (億円)
販売パルプ 国内・海外計	1,109	53.97	599	1,127	63.80	719	17	101.6%	9.84	120
(うち溶解パルプ) 国内事業	43	90.21	39	52	97.17	50	8	119.2%	6.96	11
販売電力 (GWh) 国内事業	514	20.39	105	515	21.16	109	1	100.2%	0.77	4

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

4.セグメント別利益増減分析 ④印刷情報メディア

2016年度2Q累計

売上高

営業利益

1,455 億円

18 億円

うち国内 14 億円
うち海外 4 億円

2017年度2Q累計

売上高

営業利益

1,408 億円

▲26 億円

うち国内 ▲38 億円
うち海外 12 億円

増減額

営業利益

▲44 億円

うち国内 ▲52 億円
うち海外 +8 億円

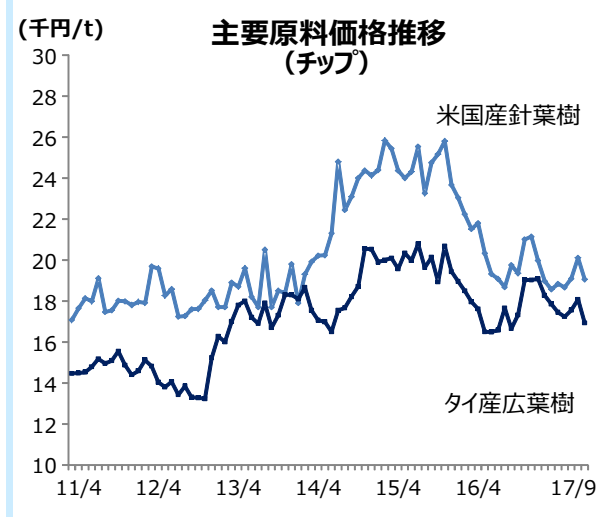
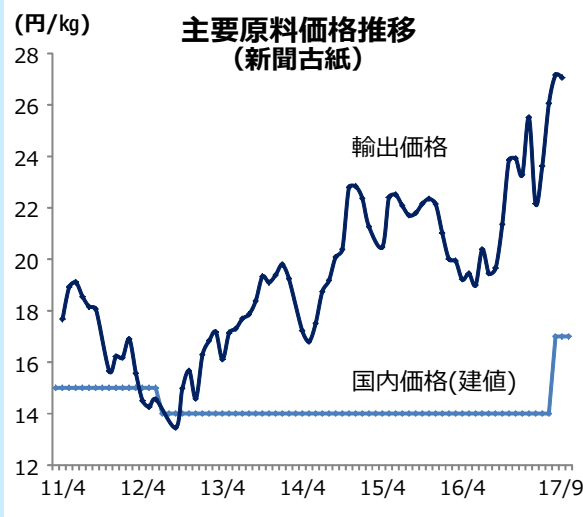
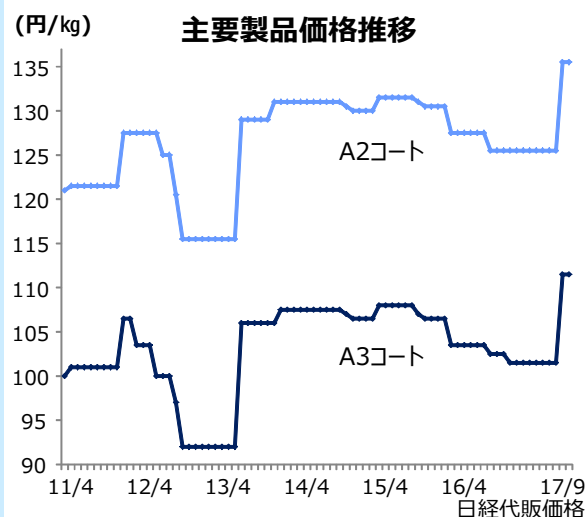
増減益要因 (▲44億円)

◆ 国内事業 ▲52億円

◆ 海外事業 +8億円

原燃料価格差 ▲35億円
コストダウン +21億円販売・市況要因 ▲31億円
等

コスト削減対策や印刷用紙の増販・市況好調により増益



主要製品売上高実績(注)	2016年度2Q累計			2017年度2Q累計			増減			
	販売数量 (千 t)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)	販売数量 (千 t)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)	販売数量 (千 t)	対前年比 (%)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)
新聞・印刷情報用紙 国内事業	1,190	107.71	1,282	1,161	105.19	1,221	▲29	97.5%	▲2.52	▲61

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

Ⅱ. 2017年度業績予想

1. 2017年度連結業績予想



(単位：億円)

	2016年度	2017年度予想	増減
売上高	14,399	15,000	601
営業利益	702	750	48
経常利益	529	640	111
親会社株主に帰属する 当期純利益	403	370	▲33
減価償却費	748	707	▲41
海外売上高比率	28.2%	29.7%	1.5%
海外所在会社営業利益	197	434	237
為替レート [期中平均・円/US\$]	108.4	110.6	2.2

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

2017年度予想前提条件

◆ 原燃料価格

- ・チップ：現行契約ベース
- ・古紙：現行価格レベル横ばい
- ・石炭：現行契約ベース

◆ 営業利益への変動影響（年間）

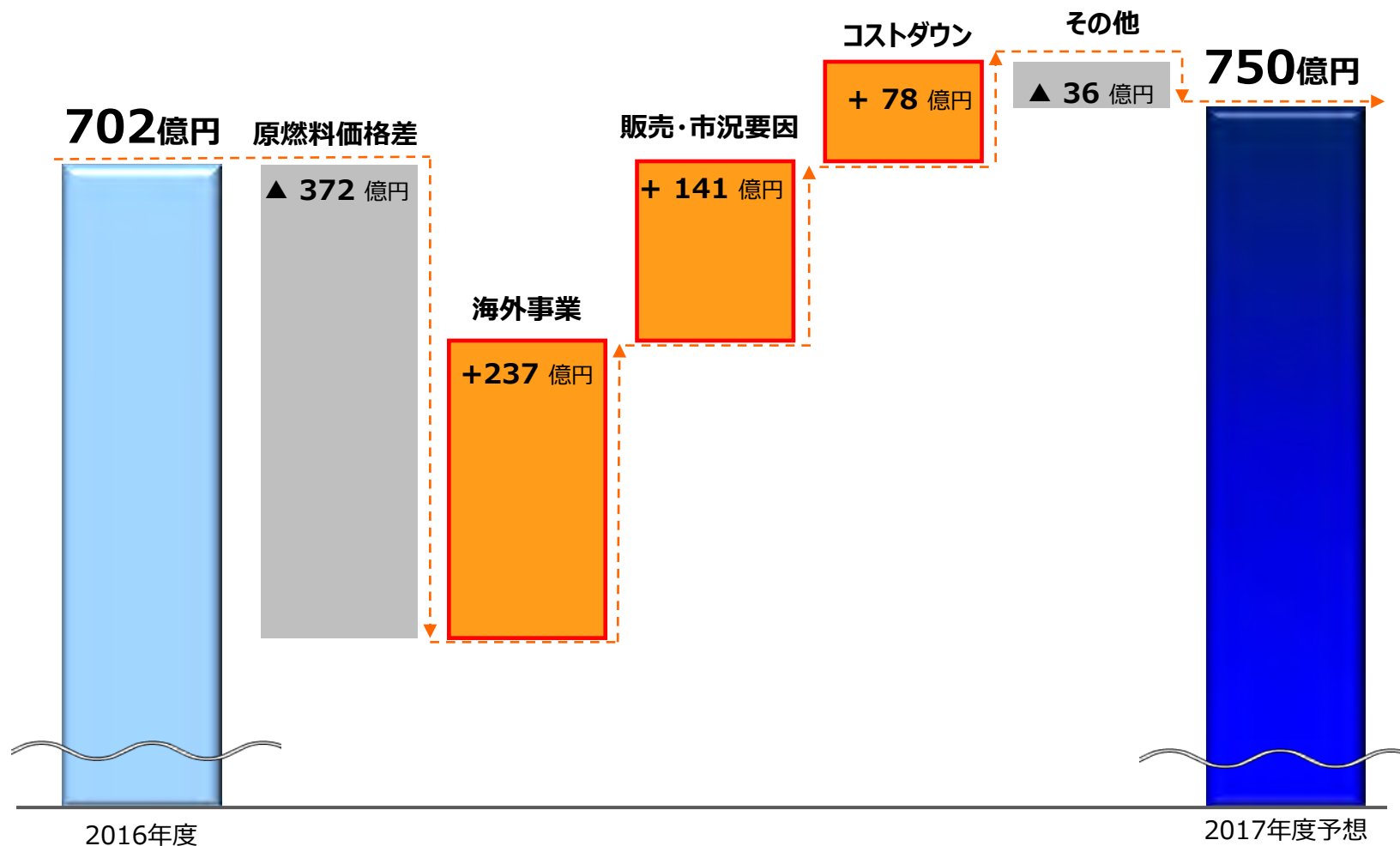
- ・為替レート [円]
「ブラジルレアル」 [NZドル]
：対USドル1%変動につき±約1.9億円（USドル高－）
：対USドル1%変動につき±約4.2億円（USドル高＋）
：対USドル1%変動につき±約7.3億円（USドル高＋）
- ・古紙価格
：1円/kg変動につき±約41億円
- ・ドバイ原油価格
：1USドル/bbl変動につき±約2.9億円
（重油、バンカーオイル、ナフサ関連製品 他）
- ・パルプ価格
：10USドル/t 変動につき±約23.0億円（パルプ高＋）

2. 連結営業利益増減内訳 (2016年度 対 2017年度予想)



OJI HOLDINGS

原燃料価格高騰も、パルプ価格の回復・価格政策・コストダウン等により
48億円増益



3.セグメント別売上高・営業利益 (2017年度予想)

(単位：億円)

	2016年度実績		2017年度予想		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活産業資材	6,203	188	6,650	93	447	▲95
機能材	2,176	175	2,205	198	29	23
資源環境ビジネス	2,703	191	2,940	394	237	203
印刷情報メディア	2,961	55	2,920	▲18	▲41	▲73
その他	356	93	285	83	▲71	▲10
連結合計	14,399	702	15,000	750	601	48

※ 1 売上高にはセグメント間売上げを含む

※ 2 その他には調整額を含む

4.セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材

2016年度				2017年度予想				増減額	
売上高		営業利益		売上高		営業利益		営業利益	
6,203 億円	188 億円	うち国内	151 億円	6,650 億円	93 億円	うち国内	53 億円	▲95 億円	うち国内 ▲98 億円
		うち海外	37 億円			うち海外	40 億円		

「2017年度 利益増減要因」

国内事業 ▲98億円

◆生活消費財事業 ▲8億円

〔原燃料価格差 ▲10億円 販売・市況要因 +4億円 等〕

紙おむつ事業の強化

子ども用テープ型加工機増設

2017年9月 営業運転開始

子ども用新ブランド「Whito」

2017年10月 全国販売開始



「Whito」 3時間用/12時間用

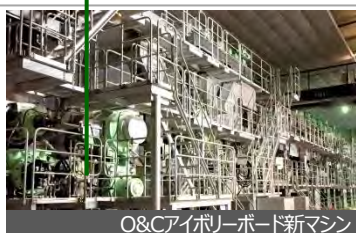
◆産業資材事業 ▲90億円

〔原燃料価格差 ▲261億円 販売・市況要因 +145億円 等〕

高級白板紙事業

・O&Cアイボリーボード

2017年10月 営業生産開始



O&Cアイボリーボード新マシン

海外事業 +3億円

◆産業資材事業 +2億円 他

海外パッケージング事業の拡大状況

Oji Cardboard Carton Solutions
(オーストラリア/メルボルン近郊)

事業内容 美粧印刷や特殊加工を必要とする
段ボール製品等の製造・販売

スケジュール 2017年9月 事業買収

Oji Fibre Solutions 新段ボール工場
(オーストラリア/クイーンズランド州)

事業内容 段ボールの製造・販売

スケジュール 2017年10月
営業運転開始



新工場のコルゲーター

4.セグメント別利益増減分析 ②機能材

2016年度

売上高

2,176 億円

営業利益

175 億円

 うち国内 128 億円
 うち海外 47 億円


2017年度予想

売上高

2,205 億円

営業利益

198 億円

 うち国内 143 億円
 うち海外 55 億円

増減額

営業利益

+23 億円

 うち国内 +15 億円
 うち海外 +8 億円

《2017年度 利益増減要因》

国内事業 +15億円

- ◆ 販売・市況要因 +25億円
- ◆ コストダウン +13億円
- ◆ 原燃料価格差 ▲21億円 等

研究開発型ビジネスの強化

新商品 <清拭はっとクロス>
 温かさが長持ちする身体清拭用ドライシート



→ 研究開発部門（HDイノベーション推進本部）と連携し
 高付加価値商品を開発

海外事業 +8億円

- ◆ 原燃料価格差 +10億円 等

[ブラジル] 感熱紙の生産能力増強

Oji Papéis Especiais (OPE)
 2017年7月 多層コーター設置 … 能力10%up
 → 今後も好調な需要に合わせて増産投資を検討



OPE PC3

[東南アジア] 機能材一貫生産の推進、事業領域の拡大

Hyper-Region Labels (マレーシア)

- 事業内容 ラベル等 印刷・加工
- スケジュール 2016年5月 株式取得（発行済株式の60%）

Tele-Paper Malaysia (マレーシア)

- 事業内容 感熱紙・ノーカーボン紙 印刷・加工
- スケジュール 2017年8月 株式取得（発行済株式の76%）

Oji Myanmar Packaging (ミャンマー)

- 事業内容 軟包装製品等の製造・販売
- スケジュール 2017年9月 営業運転開始



Tele-Paper 外観

4.セグメント別利益増減分析 ③資源環境ビジネス



OJI HOLDINGS

2016年度				2017年度予想				増減額
売上高	営業利益			売上高	営業利益			営業利益
2,703 億円	191 億円	うち国内 87 億円 うち海外 104 億円		2,940 億円	394 億円	うち国内 86 億円 うち海外 308 億円		+203 億円 うち国内 ▲1 億円 うち海外 +204 億円

「2017年度 利益増減要因」

海外事業 +204億円

◆ パルプ価格上昇 +269億円

CENIBRA	+120億円
江蘇王子製紙	+83億円
Oji Fibre Solutions	+39億円
PAN PAC	+27億円
等	

パルプ市況は、2016年9月以降回復傾向

◆ レアル高によるコスト高 ▲58億円

◆ 原燃料価格差 ▲40億円 等

中国向け リスト価格	2016年 (1-12月平均)	2017年 (見通し)	2017年度 下期想定	参考 (足元実績)
LBKP (ユーカリ)	520 USD/t	150USD/t 上昇 670 USD/t	710 USD/t	790 USD/t
NBKP (ラジアータバイン)	590 USD/t	70USD/t 上昇 660 USD/t	680 USD/t	810 USD/t



江蘇王子製紙 新ドライパルプマシン (中国)



PAN PAC (ニュージーランド)

4.セグメント別利益増減分析 ④印刷情報メディア

2016年度				2017年度予想				増減額	
売上高		営業利益		売上高		営業利益		営業利益	
2,961 億円		55 億円	うち国内 45 億円 うち海外 10 億円	2,920 億円		▲18 億円	うち国内 ▲49 億円 うち海外 31 億円	▲73 億円	うち国内 ▲94 億円 うち海外 +21 億円

「2017年度 利益増減要因」

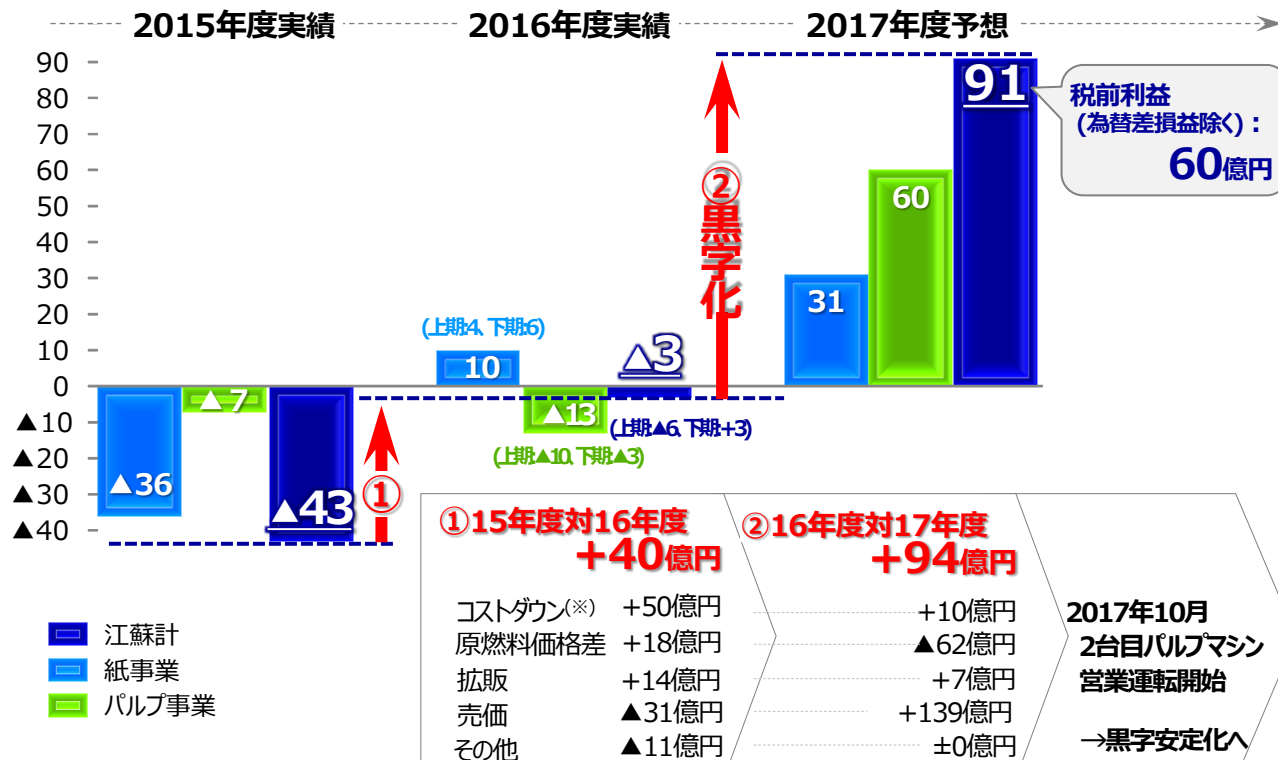
国内事業 ▲94億円

- ◆原燃料価格差 ▲80億円
- ◆販売・市況要因 ▲35億円
- ◆コストダウン +30億円
- 等

海外事業 +21億円

- ◆原燃料価格差 ▲48億円
- ◆販売・市況要因 +60億円
- ◆コストダウン +10億円

江蘇王子製紙(中国) 営業損益推移



※コストダウンには減価償却費減も含む

5. 外部環境の変動による影響

(億円/年)

				生活 産業資材	機能材	資源環境 ビジネス	印刷情報 メディア	影響額 合計
◆ 営業利益への為替変動影響				2017年度下期想定レート				
USD建 取引影響 (USD10%高)	円		110.00 円/USD	↓	→	→	↓	▲ 42
	ブラジルレアル	(BRL)	3.10 BRL/USD	→	→	↑	→	+ 42
	ニュージーランドドル	(NZD)	1.41 NZD/USD	↑	→	↑	→	+ 73
外貨建損益 換算影響 (円10%安)	米ドル	(USD)	110.00 円/USD	↑	↑	↑	→	+ 23
	ブラジルレアル	(BRL)	35.50 円/BRL	→	↑	→	→	+ 3
	ニュージーランドドル	(NZD)	78.00 円/NZD	↑	→	↑	→	+ 6
◆ パルプ価格影響 (10USD/t 高)				↓	↓	↑	↓	+ 23

 +: 良化
 ▲: 悪化

グローバル化・多角化したグループ総合力で、為替変動、パルプ市況変化に対応

Ⅲ. グループ経営目標

1.収益計画 (1)経営理念・経営戦略

経営理念

～王子グループが目指す姿～

革新的価値の創造

未来と世界への貢献

環境・社会との共生

「領域をこえ 未来へ」

経営戦略

～グループ基本方針 と 経営数値目標～

～2016-18年度グループ基本方針～

海外事業の拡大

国内事業の集中・進化

財務基盤の強化

～2018年度経営数値目標～

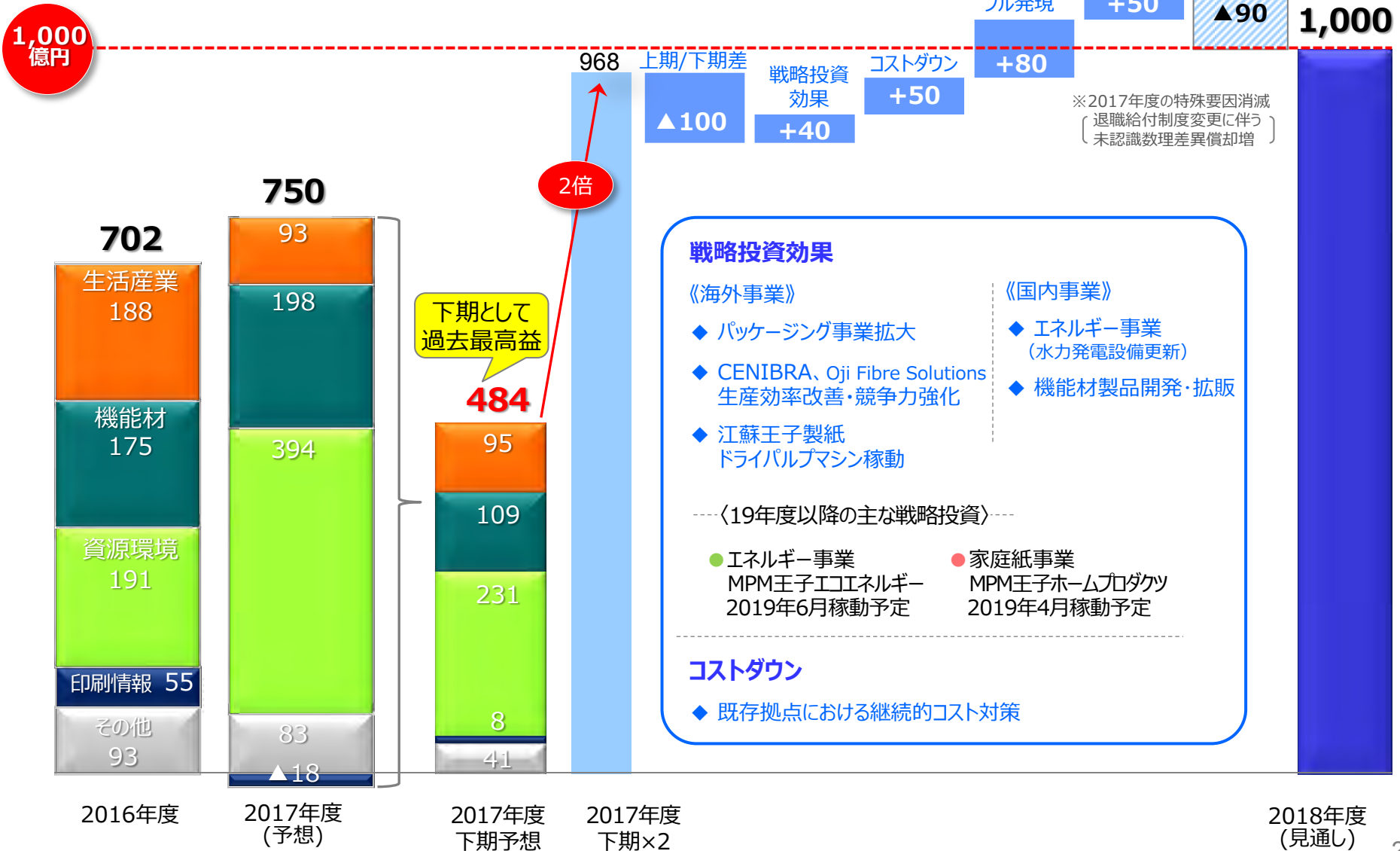
＜連結営業利益＞ **1,000億円**

＜海外売上高比率＞ **35% (将来目標50%)**

＜有利子負債残高＞ **7,000億円**

1. 収益計画 (2) 2018年度中期計画進捗状況

2018年度営業利益見通し



IV. トピックス

1. 事業戦略 ① 東南アジア・オセアニア段ボール事業

新段ボール工場

東南アジアだけでなく、オセアニアも含めた地域全体で拡大需要を取り込み

2017年10月 Oji Fibre Solutions (豪州/クイーンズランド州)

2018年4月 Harta Packaging Industries (マレーシア/ペラ州)

2019年3月 United Packaging (ベトナム/ホーチミン市) ※

※段ボール以外の主な事業：紙コップ等の食品包装容器

今後の取り組み

マレーシア

- ・段ボール原紙マシンの増設
- ・段ボール工場拡張、生産能力増強

ベトナム・インド等

- ・段ボール工場の新設

その他

- ・段ボール事業会社の買収
- ・新たな国への進出



<オセアニア>

<東南アジア>

1.事業戦略 ②海外紙おむつ事業

引き続き、東南アジアでの事業強化と日本からの輸出を拡大

東南アジアでの戦略的な事業強化

「マレーシア」

- ・2拠点で子供用紙おむつを生産・販売

子供用パンツ型に加え

2017年4月 子供用テープ型も販売開始

マレーシア国内で拡販
新生児を取り込みブランド浸透促進
商品優位性強化 等

周辺国へ輸出の拡大

既存のベトナム、カンボジア、ミャンマー、
UAEの他、新規展開を進める

「インドネシア」

- ・Oji Indo 合併会社

2016年11月

国内市場で販売開始

2017年11月

ミニマーケット※で販売開始

※インドネシア全国で発展している
小型のスーパーマーケット

Indofoodの流通網を活用し
ミニマーケット最大手Indomaret
(インドネシア全国13,000店舗)
を最重要販売チャネルとして拡販



パンツ型紙おむつの製造
(マレーシア)



地場スーパー
(インドネシア)



ミニマーケット
(インドネシア)

中国への輸出・中国現地生産販売

日本から
中国への輸出

“日本製”への嗜好が強い中国で、
上海・華東地区を中心に
販売数量・シェアを拡大

中国における
現地生産販売

輸出によるシェア拡大後、
南通工場への設備投資を検討



江蘇省のベビー用品店

Oji Asia Household Product グループ

Oji Indofood
合併会社

1.事業戦略 ③東南アジア感熱紙事業

東南アジア地域での一貫生産化

タイ

2拠点で加工原紙を生産

- ・**感熱紙**
- ・ノーカーボン紙
- ・粘着紙、剥離紙 等



Oji Paper (Thailand)のコーター

マレーシア

2拠点で印刷・加工

- ・感熱紙の**印刷**、裁断等の**加工**
- ・**ラベル**の製造 他

製品例 レジロール、飛行機チケット 等



Hyper-Region Labelsの印刷機

軟包装製品 : 1

Oji Myanmar Packaging

加工原紙 : 2

Oji Paper (Thailand)

Oji Label (Thailand)

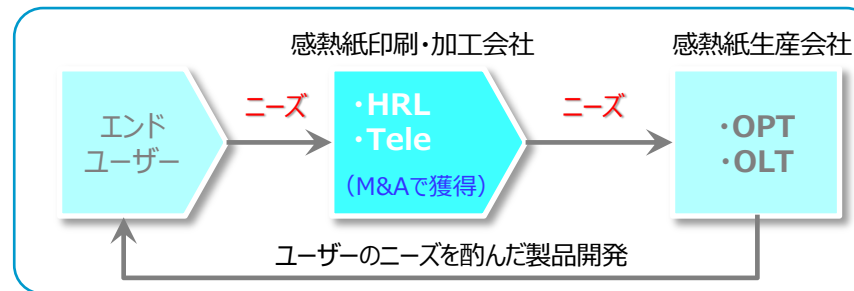
印刷・加工 : 2

Hyper-Region Labels (2016年5月買収)

Tele-Paper Malaysia (2017年8月買収)

川下事業獲得による製品開発力強化

エンドユーザーのニーズを反映させた感熱紙・粘着製品の開発で競争力強化・拡販を推進



今後の取り組み

段ボール事業や軟包装事業と連携し、
東南アジアで**トータルソリューションパッケージング**を展開

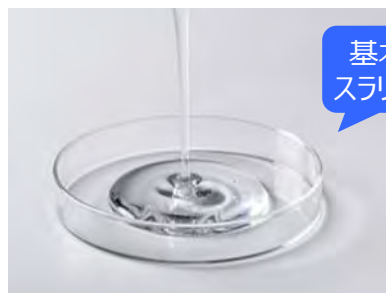
2. 研究開発 ①セルロースナノファイバー(CNF)



≪ 新素材 : セルロースナノファイバー※ ≫

王子の独自製造技術（リン酸エステル化法）による各種のCNF

※木質繊維（パルプ）をナノオーダーにまで微細化したもの。
透明で、軽くて丈夫、変形に強く、高い増粘効果を有する
優れた材料として、多くの分野での活躍が期待できる。



基本の
スラリー状

「アウロ・ヴィスコ」増粘性 他



王子独自の
透明連続シート

「アウロ・ヴェール」

「アウロ・ヴェールWP※」
※WP：ウォータープルーフ

ガスバリア性に加え、
耐水性を追加

優れた
成形加工性



「アウロ・ヴェール3D」



ハンドリング性
に優れる

ウェットパウダー状CNF



疎水性の高いパウダー状CNF

開発の進捗状況

	2016年12月	2017年5月	2017年6月	2017年10月	2017年度後半
スラリー	アウロ・ヴィスコ 製造実証プラント稼動 【年産能力40t】	アウロ・ヴィスコ 販売開始			
パウダー			有機溶剤に 溶解可能なパウダー サンプル配布		
シート		アウロ・ヴェール3D サンプル配布		アウロ・ヴェールWP サンプル配布	アウロ・ヴェール各種 製造実証プラント稼動予定 【年産能力25万㎡】

将来期待される用途

各種増粘剤・分散剤
航空機等のプラスチック補強

有機EL 太陽光発電パネル
柔軟性の高いディスプレイパネル

「新技術」：薬用植物「甘草(※)」

※漢方薬の約7割に使用されている薬用植物。化粧品や食品・雑貨等、用途は幅広い。
日本向けの供給源である中国では、資源枯渇の懸念から輸出規制の対象となっている。

2016年11月

甘草の国内短期栽培技術 確立
→ 栽培期間を約1/3に短縮

2017年4月
(リリース)

アルビオン社の化粧品原料として実用化の見通し

2017年

大規模栽培開始 → 2019年収穫予定



植付け直前の苗



大規模甘草栽培地

「既存技術」の深掘り：水処理事業の拡大

長年の紙パルプ製造を通じて蓄積した用水製造・排水処理技術を活用し、上下水、各種工場排水、産廃処理廃液、畜産廃液、産業用水等、あらゆる水環境に対応する水処理システムを提供



水処理サービスで提供する製品例

これまでの
取り組み
＜代表案件＞

- ・タイ/シンサコン工業団地 淡水化水処理システム
- ・ミャンマー/ミンガラドン工業団地 技術支援請負
- ・ミャンマー/商業施設(ホテル) 水処理システム
- ・国内/水産加工向け排水処理設備
- ・国内/製紙工場向け排水処理設備

今後の
取り組み

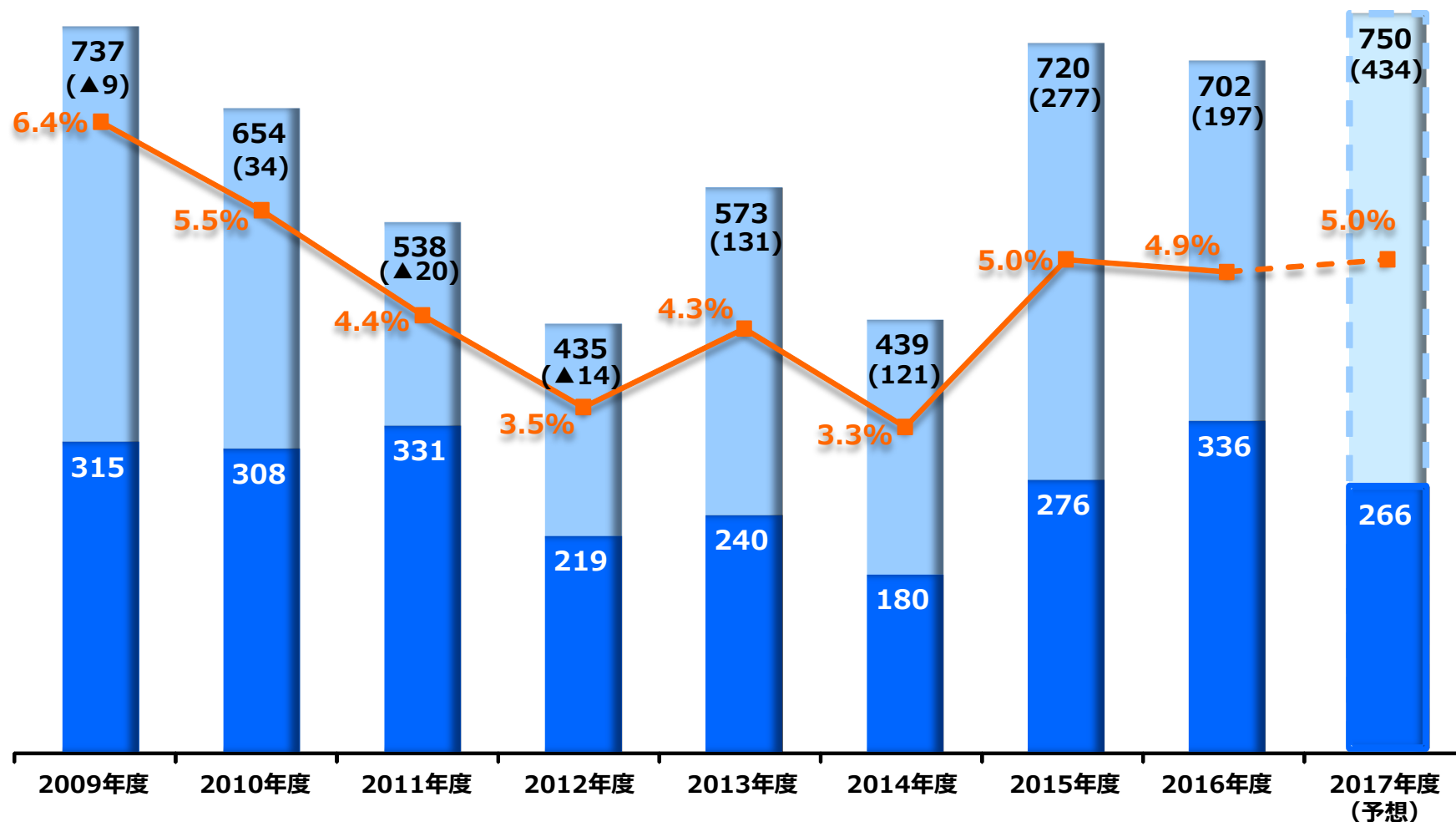
- ・水処理商品の販売等によるサービス事業の拡大
- ・IoT技術を活用したメンテナンスサービスの展開
(遠隔監視を活用した効率的なサービス 等)



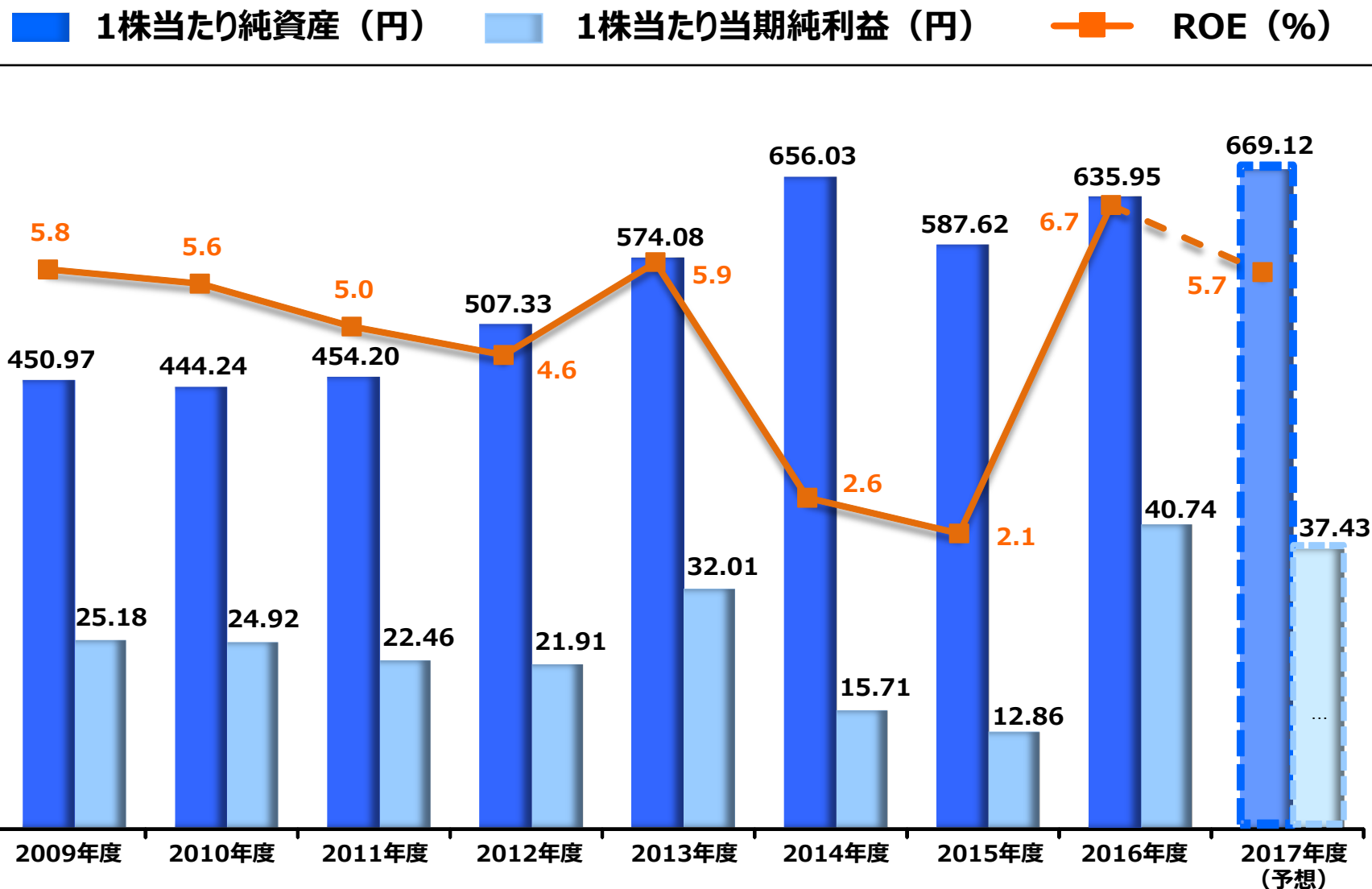
工業用水の製造設備

《参考資料》

■ 営業利益 (うち海外所在会社)
 ■ 営業利益[2Q累計]
 —■— 売上高営業利益率
 (億円)



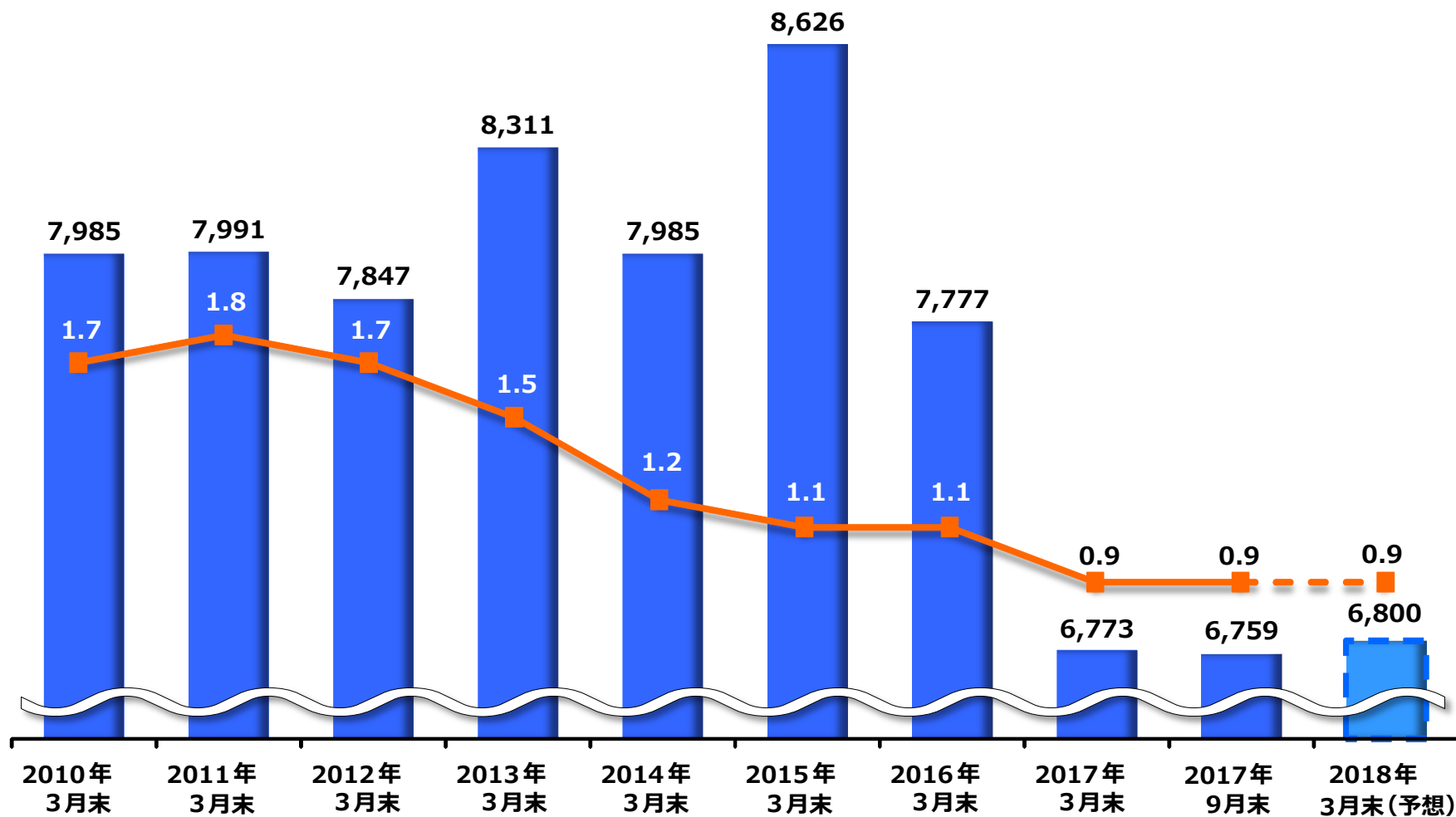
自己資本利益率（ROE）推移



連結有利子負債残高推移



■ 連結有利子負債（億円） ■— D/E（倍）

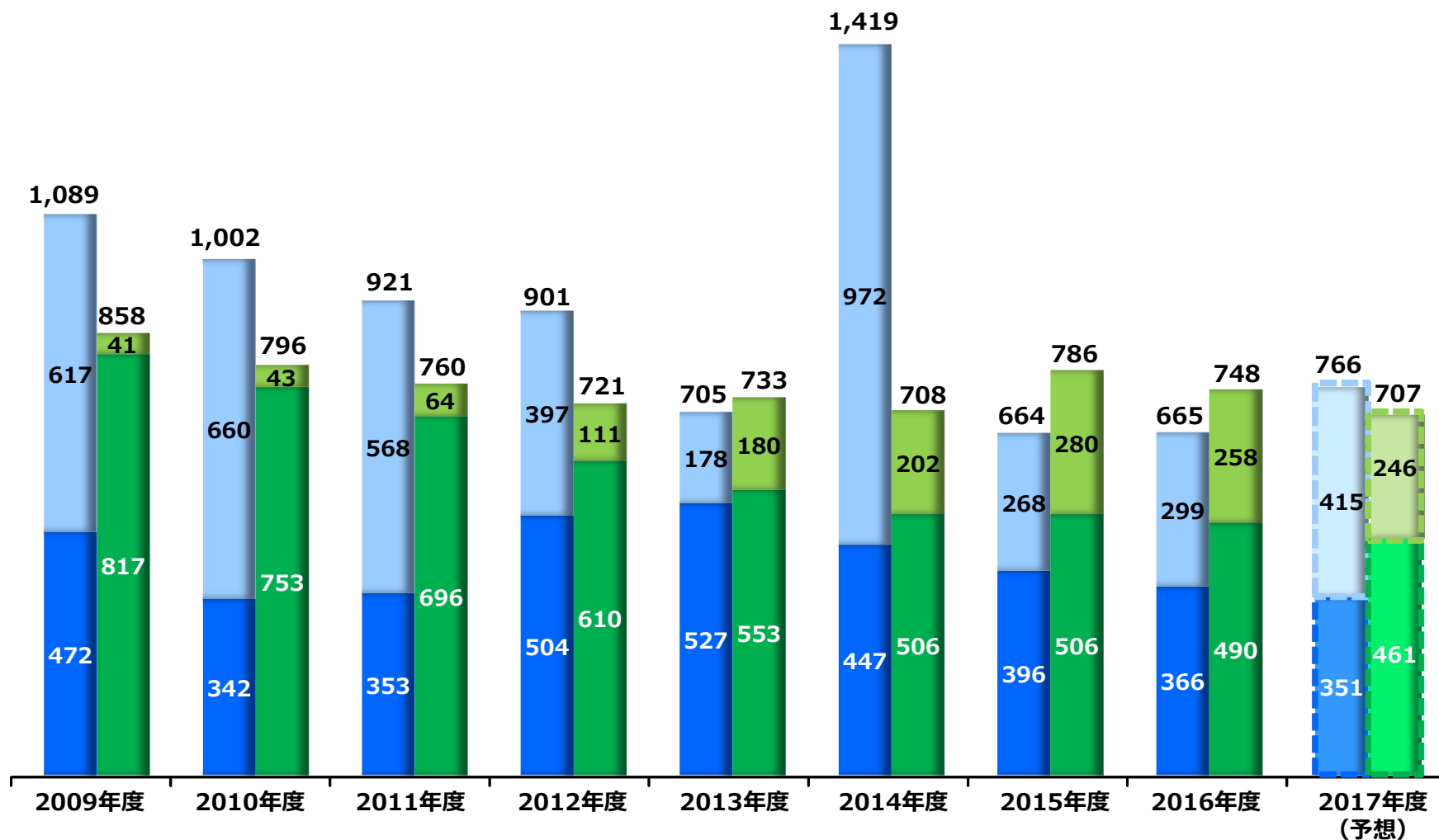


連結設備投融資・減価償却費推移



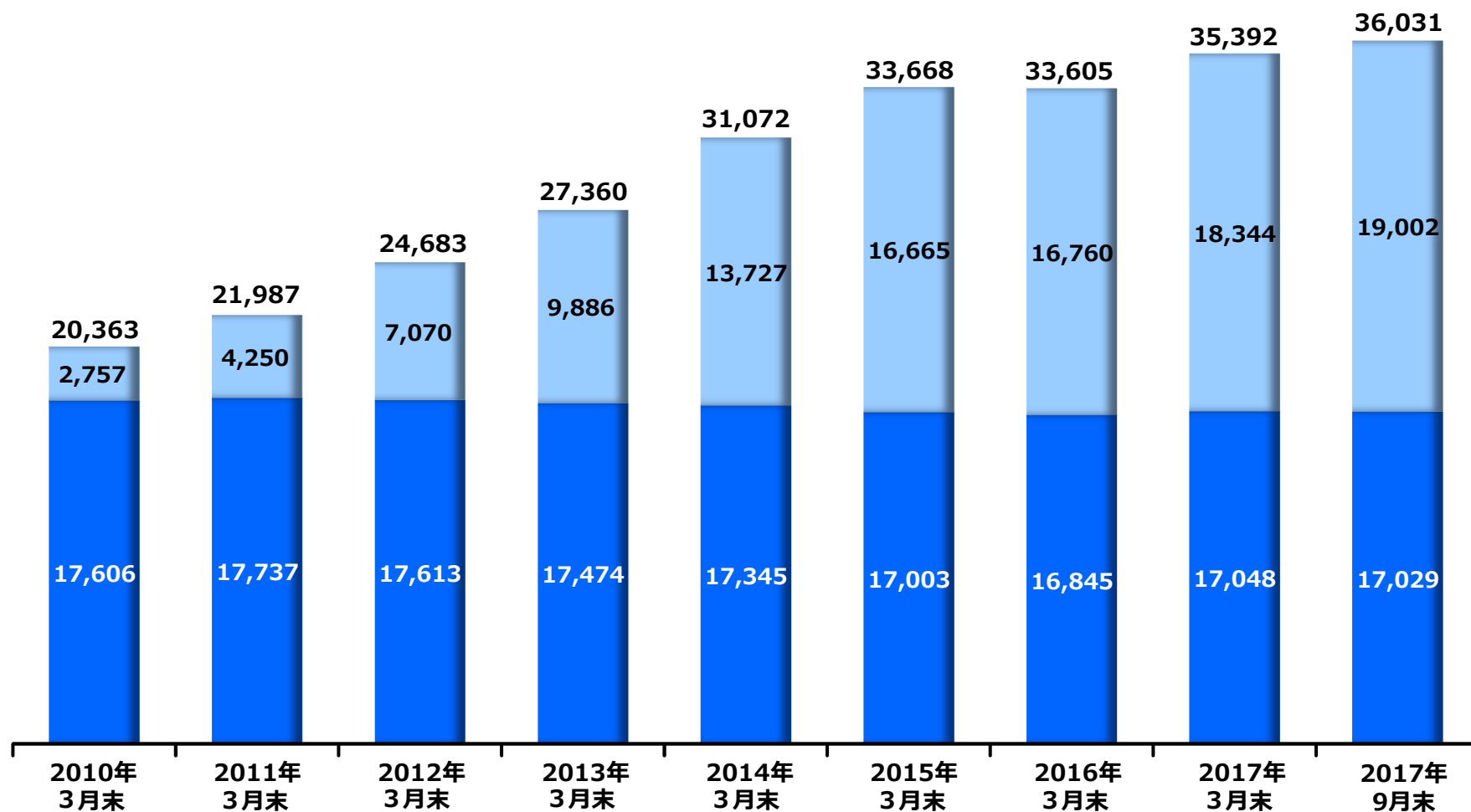
OJI HOLDINGS

■ 国内設備投融資
 ■ 海外設備投融資
 ■ 国内減価償却費
 ■ 海外減価償却費
 (億円)



■ 連結就業人員（国内）
 ■ 連結就業人員（海外）
 (人)

※臨時従業員を除く



2017年度2Q累計 業界需要動向



OJI HOLDINGS

(単位：千t)

	国内出荷高		輸入紙（通関） ※1		合計	
	前年比		前年比		前年比	
段ボール原紙	4,611	102.5%	23	106.2%	4,634	102.5%
紙器用板紙	769	100.9%	126	99.8%	895	100.8%
その他の板紙	321	102.8%	14	120.9%	335	103.5%
板紙 計	5,701	102.3%	163	102.2%	5,865	102.3%
衛生用紙	887	99.8%	100	106.1% ※2	987	100.4%
包装用紙	350	99.9%	4	142.0%	355	100.3%
新聞用紙	1,355	94.4%	5	74.4%	1,360	94.3%
印刷・情報用紙	3,655	98.8%	509	102.2%	4,164	99.2%
雑種紙他	377	108.1%	9	89.9%	385	107.6%
紙 計	6,623	98.5%	627	102.5%	7,250	98.9%

板紙・紙 計	12,325	100.3%	790	102.4%	13,115	100.4%
---------------	---------------	---------------	------------	---------------	---------------	---------------

(単位：百万㎡)

段ボール ※3	7,128	101.4%			7,128	101.4%
----------------	--------------	---------------	--	--	--------------	---------------

出典：「日本製紙連合会紙・板紙需給統計」、「財務省貿易統計」、「全国段ボール工業組合連合会段ボール生産量」

※ 1：輸入紙（通関）の実績は2017年4月～2017年9月（速報）の実績

※ 2：衛生用紙の輸入紙（通関）に二次製品（加工品）を含む

※ 3：段ボールの数量は生産量（貼合されたシートの総量）

領域をこえ 未来へ



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、本資料に掲載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。
従いまして、本資料のみに準拠して投資判断されますことをお控えくださいますようお願い致します。
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。